



## 令和2年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和元年10月31日

上場会社名 日本調剤株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3341 URL <https://www.nicho.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津原 庸介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 小城 和紀 TEL 03-6810-0800  
 四半期報告書提出予定日 令和元年11月14日 配当支払開始予定日 令和元年12月5日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和2年3月期第2四半期の連結業績(平成31年4月1日～令和元年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和 2年3月期第2四半期	130,297	9.8	4,066	162.8	4,001	216.2	2,094	181.2
平成31年3月期第2四半期	118,694	0.5	1,547	△68.4	1,265	△72.7	744	△73.4

(注) 包括利益 令和2年3月期第2四半期 2,106百万円 (170.5%) 平成31年3月期第2四半期 778百万円 (△69.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和 2年3月期第2四半期	139.71	—
平成31年3月期第2四半期	46.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
令和 2年3月期第2四半期	179,334	42,804	23.9
平成31年3月期	178,677	41,073	23.0

(参考) 自己資本 令和2年3月期第2四半期 42,799百万円 平成31年3月期 41,068百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
平成31年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
令和 2年3月期	—	25.00	—	—	—
令和 2年3月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 令和2年3月期の連結業績予想(平成31年4月1日～令和2年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	268,599	9.3	7,231	7.4	7,069	16.3	4,020	6.1	268.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和2年3月期2Q	16,024,000株	平成31年3月期	16,024,000株
② 期末自己株式数	令和2年3月期2Q	1,030,317株	平成31年3月期	1,030,190株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	令和2年3月期2Q	14,993,765株	平成31年3月期2Q	15,927,988株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現在入手している情報による当社の判断及び仮定に基づく予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。また、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因により、これら業績予想等とは大きく異なる結果となる場合があります。

(2) 四半期決算補足説明資料の入手方法

当社は、令和元年11月7日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料についてはT D n e tにて開示し、当社ホームページへも掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成31年4月～令和元年9月）において、6月に「経済運営と改革の基本方針2019～『令和』新時代：『Society5.0』への挑戦～」が閣議決定され、9月には“誰もが安心できる社会保障制度の実現”に向けた「全世代型社会保障検討会議」の初会合が開催され、人生100年時代を見据えた社会保障制度改革の基本的考え方と具体的方針について議論が開始されました。また、令和2年度診療報酬改定に向けた調剤報酬に関する議論も中央社会保険医療協議会（厚生労働大臣の諮問機関）にて9月に開始されるなど、医療・医薬品業界を取り巻く状況は急速に且つ大きく動き出しています。

このような外部環境のもと当社グループでは、医療費の増加抑制、良質な医療サービスの提供に向けた取り組みを全社を挙げて強力に進めました結果、当第2四半期連結累計期間の業績は全ての事業セグメントで大幅な増収増益を実現することができました。特に利益面につきましても、グループ各社が経費削減など収益性改善に向けた取り組みを着実に進めつつあることも大幅な増益を実現できた要因の一つであると捉えております。

具体的な数値は、売上高130,297百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益4,066百万円（同162.8%増）、経常利益4,001百万円（同216.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,094百万円（同181.2%増）です。また、期初計画との対比につきましても売上高及び上記の段階損益全てについて上回り順調に進捗しました。

セグメント別の経営成績は以下の通りです。

#### ①調剤薬局事業

同事業では、当第2四半期連結累計期間において20店舗を新規出店し、7店舗を閉店致しました（うち1店舗は物販店舗から調剤薬局への変換）。この結果、当第2四半期連結会計期間末時点での総店舗数は611店舗（物販店舗1店舗を含む）となりました。売上高については、111,763百万円（前年同期比10.6%増）と増収実績となりました。抗がん剤などの高額な医薬品の処方増加やかかりつけ薬剤師・薬局への取り組みなどによる処方箋単価の上昇並びに人員増強などによる処方箋枚数の増加などが主な要因です。利益面については、好調な新卒採用に伴う人件費の増加などがありましたが、これを上回る増収による増益効果があったことから、営業利益が4,408百万円（同37.8%増）と大幅な増益を実現することができました。

なお、国が令和2年9月までに80%とすることを目標として掲げているジェネリック医薬品の数量ベース使用割合は、当社では9月末時点で全社平均88%を超えております。また、在宅医療実施店舗の割合は9月末時点で88%（年間12件以上実施の店舗割合）と順調に進捗しています。

#### ②医薬品製造販売事業

同事業では、当第2四半期連結累計期間において、調剤薬局事業の業容拡大とグループ内製品の使用促進などによる内部売上高の増加、加えて受託事業の伸展などによる外部売上高の増加により、同事業セグメントの売上高は21,040百万円（前年同期比8.3%増）となりました。一方利益面については、収益性を重視した販売戦略に加え内部売上高を中心とした増収による増益効果も相俟って、営業利益1,155百万円（同235.7%増）と前年同期から大幅な増益を実現することができました。

なお、当第2四半期連結会計期間末での販売品目数は、6月に新製品8品目を発売したことなどにより675品目となっております。

#### ③医療従事者派遣・紹介事業

同事業では、薬剤師を中心に派遣・紹介需要が引き続き高い水準で推移しています。当第2四半期連結累計期間では、営業拠点並びに営業人員増強などによる先行投資効果があり、薬剤師、医師の紹介実績が大きく伸長致しました。この結果、当第2四半期連結累計期間におきましても、売上高は6,775百万円（前年同期比6.7%増）と着実に業容の拡大を継続しております。一方利益面については、収益性の高い紹介事業が薬剤師、医師の分野で拡大したことなどにより、営業利益は1,082百万円（同71.6%増）と第2四半期連結累計期間として過去最高益を更新する大幅な増益を実現することができました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は179,334百万円となり、前連結会計年度末に対して656百万円、0.4%の増加となりました。流動資産は81,586百万円となり、前連結会計年度末に対して1,454百万円、1.8%の増加となりました。主な要因は、商品及び製品の増加等であります。固定資産は97,748百万円となり、前連結会計年度末に対して797百万円、0.8%の減少となりました。

負債は136,530百万円となり、前連結会計年度末に対して1,074百万円、0.8%の減少となりました。主な要因は、借入金の減少等であります。

純資産は42,804百万円となり、前連結会計年度末に対して1,731百万円、4.2%の増加となりました。主な要因は、利益剰余金の増加であります。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが9,866百万円、投資活動によるキャッシュ・フローが△3,506百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが△6,944百万円となりました。この結果現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に対して584百万円減少し、29,165百万円となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、仕入債務の増加額5,889百万円であり、主な支出項目は、たな卸資産の増加額△2,281百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」では、主な支出項目は、調剤薬局事業における既存設備の整備及び新規出店などによる投資を主とした有形固定資産の取得による支出△2,797百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」では、主な収入項目は、長期借入れによる収入8,600百万円であります。一方主な支出項目は、長期借入金の返済による支出△14,589百万円であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年4月26日に公表いたしました令和2年3月期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,749	29,165
受取手形	134	132
売掛金	16,249	16,323
電子記録債権	1,465	1,051
商品及び製品	22,272	24,721
仕掛品	1,173	1,430
原材料及び貯蔵品	6,020	5,649
その他	3,071	3,118
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	80,132	81,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,374	31,652
土地	16,961	16,812
建設仮勘定	1,133	884
その他（純額）	19,337	19,863
有形固定資産合計	69,806	69,212
無形固定資産		
のれん	14,552	14,357
その他	2,353	2,312
無形固定資産合計	16,906	16,669
投資その他の資産		
投資有価証券	17	16
敷金及び保証金	7,357	7,448
その他	4,457	4,400
投資その他の資産合計	11,833	11,865
固定資産合計	98,545	97,748
資産合計	178,677	179,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成31年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	37,274	43,531
電子記録債務	3,081	2,614
1年内返済予定の長期借入金	16,143	9,676
未払法人税等	1,478	1,821
賞与引当金	3,023	3,298
役員賞与引当金	86	6
その他	8,011	6,732
流動負債合計	69,100	67,680
固定負債		
長期借入金	62,470	62,947
役員退職慰労引当金	1,093	1,083
退職給付に係る負債	1,695	1,782
その他	3,244	3,037
固定負債合計	68,504	68,849
負債合計	137,604	136,530
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,953	3,953
資本剰余金	10,926	10,926
利益剰余金	29,815	31,535
自己株式	△3,498	△3,499
株主資本合計	41,196	42,915
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	—
退職給付に係る調整累計額	△127	△116
その他の包括利益累計額合計	△127	△116
非支配株主持分	4	4
純資産合計	41,073	42,804
負債純資産合計	178,677	179,334

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
売上高	118,694	130,297
売上原価	99,267	107,858
売上総利益	19,427	22,439
販売費及び一般管理費	17,880	18,373
営業利益	1,547	4,066
営業外収益		
受取手数料	26	20
受取賃貸料	210	209
受取補償金	—	48
補助金収入	—	69
その他	95	80
営業外収益合計	332	429
営業外費用		
支払利息	297	194
支払手数料	7	6
支払賃借料	171	167
貸倒引当金繰入額	40	—
その他	97	126
営業外費用合計	614	494
経常利益	1,265	4,001
特別利益		
固定資産売却益	143	30
投資有価証券売却益	8	—
事業譲渡益	—	34
特別利益合計	151	65
特別損失		
減損損失	—	320
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	—	320
税金等調整前四半期純利益	1,417	3,745
法人税、住民税及び事業税	914	1,701
法人税等調整額	△240	△50
法人税等合計	673	1,650
四半期純利益	743	2,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	△1	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	744	2,094

## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
四半期純利益	743	2,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
退職給付に係る調整額	35	11
その他の包括利益合計	35	11
四半期包括利益	778	2,106
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780	2,106
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,417	3,745
減価償却費	2,968	3,036
減損損失	—	320
のれん償却額	718	730
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	39	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	297	274
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△130	△80
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	84	86
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△4	△10
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	297	194
固定資産売却損益 (△は益)	△143	△30
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	0
事業譲渡損益 (△は益)	—	△34
売上債権の増減額 (△は増加)	2,187	342
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△5,994	△2,281
仕入債務の増減額 (△は減少)	4,774	5,889
未払金の増減額 (△は減少)	△694	△727
その他	1,194	△125
小計	7,005	11,331
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△217	△140
法人税等の支払額	△2,851	△1,324
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,936	9,866
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△3,074	△2,797
有形固定資産の売却による収入	1,445	236
無形固定資産の取得による支出	△368	△237
投資有価証券の売却による収入	10	0
長期前払費用の取得による支出	△45	△42
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△761	—
事業譲受による支出	△314	△603
事業譲渡による収入	—	52
貸付けによる支出	△20	△6
貸付金の回収による収入	43	41
敷金及び保証金の差入による支出	△543	△282
敷金及び保証金の回収による収入	103	134
その他	△10	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,535	△3,506

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	9,350	8,600
長期借入金の返済による支出	△12,780	△14,589
自己株式の取得による支出	△1,104	△0
配当金の支払額	△398	△374
その他	△617	△579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,550	△6,944
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,149	△584
現金及び現金同等物の期首残高	28,464	29,749
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,315	29,165

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	101,048	11,428	6,217	118,694	—	118,694
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	8,003	134	8,143	△8,143	—
計	101,054	19,431	6,351	126,837	△8,143	118,694
セグメント利益又は損失(△)	3,197	344	630	4,172	△2,625	1,547

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,625百万円にはセグメント間取引消去△111百万円及び全社費用△2,514百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	調剤薬局 事業	医薬品製造 販売事業	医療従事者 派遣・紹介 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	111,757	11,783	6,756	130,297	—	130,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	9,256	19	9,281	△9,281	—
計	111,763	21,040	6,775	139,579	△9,281	130,297
セグメント利益又は損失(△)	4,408	1,155	1,082	6,645	△2,579	4,066

(注) セグメント売上高合計及びセグメント利益合計と、四半期連結損益計算書の売上高及び営業利益との調整を行っております。なお、セグメント利益又は損失の調整額△2,579百万円にはセグメント間取引消去△8百万円及び全社費用△2,571百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「調剤薬局事業」セグメントにおいて、店舗資産(2店舗)の減損損失54百万円を計上しております。また、「医薬品製造販売事業」セグメントにおいて、工場設備の一部について減損損失265百万円を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。